

『大治町「生涯活躍のまち」構想』の策定及び 『大治町デジタル田園都市構想総合戦略』の改訂に対する パブリックコメント（町民等意見募集）の結果について

『大治町「生涯活躍のまち」構想』の策定及び『大治町デジタル田園都市構想総合戦略』について、パブリックコメント（町民等意見募集）を実施したところ、以下のとおりご意見をいただきました。意見の概要については、原文を要約するなどして掲載させていただきましたので、ご了承ください。

ご協力ありがとうございました。

1 募集期間

令和6年2月21日（水）から令和6年3月21日（木）まで

2 提出された意見

（1）提出数 2名

（2）提出方法 書面による提出

3 提出された意見及び意見に対する町の考え方

1 、 1	【意見の概要】 コミュニティ事業活動について、新型コロナ流行後より、一部校区で活動の休止や活動事業の一部停止が見受けられ、活動の希薄化・困難化が生じております。町民の高齢化、生活の多様化等がその因かと思料されます。組織は人なりと良くいわれますが、町を含めた地域の各種行事やふれあい交流が欠如して充分機能していないのではないかと。現在実施中の「コミュニティ・ミーティング」の継続開催等の多世代間の交流が今後も強く望まれる。 【町の考え方】 「コミュニティ・ミーティング」につきましては、令和6年度も継続して実施予定です。町民にとってよりよいコミュニティの在り方を、行政と住民と一体となって検討してまいります。
1 、 2	【意見の概要】 ソフト面で、町の現有（存）健康福祉施設の一部ですが、利用目的により閉鎖的運用が見受けられ、今後は、町民及び各団体が利用しやすい開かれた施設へと方向転換されることを強く求めます。今後、整備される各施設においても同様です。 【町の考え方】 総合福祉センター「希望の家」など、町内の各施設の運営及び整備については、町民福祉の増進のため、幅広く町民の皆様にご利用いただけるようにすすめてまいります。

2 ・ 1	【意見の概要】 <大治町「生涯活躍のまち」構想P 1 0 【大治太鼓】の文言について> 令和2年12月10日に、大治太鼓保存会が、大治町指定無形民俗文化財「神楽太鼓・嫁獅子」の継承団体となったことが明記されていない。 【町の考え方】 当該ページに、大治太鼓保存会が『令和2年には、町指定の無形民俗文化財である「神楽太鼓・嫁獅子」の継承団体となり、』と文言を加えたうえで、大治太鼓に関する文言を全体的に修正しました。
2 ・ 2	【意見の概要】 <大治町「生涯活躍のまち」構想P 1 0 【大治太鼓】の写真について> 大治太鼓の写真について、大治太鼓保存会が「神楽太鼓・嫁獅子」の継承団体であることをPRするのであれば、10基の「神楽」が集合する様子を表した写真の方が良いのでは。 【町の考え方】 上記2-1を踏まえたうえで、写真についても差し替えをしました。
2 ・ 3	【意見の概要】 <大治町「生涯活躍のまち」構想P 1 8 (5) 人の流れについて> <大治町デジタル田園都市構想総合戦略P 1 1 施策の展開3-3 文化によるまちづくりについて> 大治太鼓保存会としては、既に町内外への発信に目を向けて活動している。さらには、世界への発信も視野に入れている状況である。 また、これまで総合戦略(令和5年3月策定時点)では、「文化財保護事業」として大治太鼓が入っていたものだと考えているが、大治太鼓も事業として入れるべきではないか。 【町の考え方】 町内のイベントや各地域での祭りでの演奏、県外への演奏活動等を実施する大治太鼓保存会の活動は会員の「活躍」の場の提供をしているといえます。今後もますます活躍の場を広げ、『神楽太鼓・嫁獅子』を継承していただくためにも、大治太鼓保存会の活動を支援します。 以上のことから、大治町「生涯活躍のまち」構想のP 1 9に、「活躍」の場として大治太鼓保存会の活動を明記し、大治町デジタル田園都市構想総合戦略のP 1 1 「施策の展開3-3 文化によるまちづくり」に、「伝統芸能継承事業」を追加しました。

2 、 4	【意見の概要】 <大治町「生涯活躍のまち」構想 P 1 7 (4) 活躍について> 大治太鼓保存会の活動は、生涯現役で、親子活動サポートという観点からも、多世代にわたり、かつコミュニティ活動という観点からも述べられるのではないか。 【町の考え方】 上記 2－3 の町の考え方と同一です。
----------------------	--